西暦 2026 年 9 月 15 日

内視鏡下ならびにロボット支援下手術を受けられた患者さんへ

日本産科婦人科内視鏡・ロボティクス学会における手術および合併症登録
へのご協力のお願い

1. 研究の対象

2026 年 1 月 1 日～2028 年 12 月 31 日

2. 研究目的・方法・期間

上記の期間に当院にて内視鏡下ならびにロボット支援下手術を受けられた患者さんを対象とし、手術にともなうリスクを理解した上で、患者さんやご家族とともに手術・治療の方針を決定することができるようになり、より良い医療の提供に繋がることを主な目的としております。研究参加施設から、共通の入力システムを用いて患者情報・手術内容・合併症を 1 手術ごとにコンピューター上に入力し、匿名化加工をおこなったうえで日本産科婦人科内視鏡・ロボティクス学会に提出します。データは研究参加施設の担当者により電子的に提出され、その過程の通信は暗号化され、その管理と解析は学会で行います。

研究の結果、特許権などの知的財産権が生じる可能性もございますが、データを使用させていただいた患者さんには帰属しません。

研究期間：実施許可日～2029 年 12 月 31 日

この研究は、日本産科婦人科内視鏡・ロボティクス学会が申請した倫理審査委員会にて審査及び承認され、病院長の許可を受けて実施するものです。また、松山赤十字病院の研究費で行っており、特定の企業・団体等から支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、研究に関するご質問や相談等ありましたらお問合せください。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんから発生する試料はございません。

検査データ、診療記録等を対象とします。

医療サービスの提供時に取得した情報及び過去に研究を目的に取得した情報を利用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、情報を使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

4. 外部への試料・情報の提供

日本産科婦人科内視鏡・ロボティクス学会の登録システムに登録される情報は、手術ごとに診療録から抽出されカテゴライズされた、診断名、施行手術術式、手術アプローチ方法（腹腔鏡下手術、ロボット支援下手術、子宮鏡下手術の場合）、手術時間、合併症の有無、合併症の内容、合併症の程度、合併症の転帰です。あわせて、手術日と患者番号、参加施設内のコンピューター固有の値から算出されたハッシュ値が登録されます。ハッシュ値は情報の一意性を担保するためのもので解析や二次研究には利用されません。

5. 個人情報の取扱い

利用するデータは、匿名化または符号や番号を付することを行い、個人が特定されないようにします。

この研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはありません。

ご本人等からの求めに応じて、保有する個人情報を開示します。情報の開示を希望される方はご連絡ください。

6. 研究組織

日本産科婦人科内視鏡・ロボティクス学会 調査普及委員会
研究責任者：谷口 文紀（鳥取大学医学部産科婦人科）
研究分担者：小松 宏彰（鳥取大学医学部産科婦人科）
野村 弘行（東海大学医学部産婦人科）
宮本 雄一郎（東京大学医学部産婦人科）
山上 亘 （慶應義塾大学医学部産婦人科）
山本 泰弘（久我山病院産婦人科）

7. お問合せ先

今回の試料・情報の利用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので下記までご連絡ください。その場合でも今後の治療などに影響することはございません。

日本赤十字社　松山赤十字病院　産婦人科
研究責任者：部長　栗原　秀一
TEL：089-924-1111㈹　FAX：089-922-6892㈹